

# ほうほういにか

2022年4月 日  
桜井谷小学校  
6年図工通信 第1号  
発行者：

## コンテを使って

6年生のみなさん、進級おめでとうございます。新しい学年、新しいクラスでの1年が始まりましたね。今日から1年間どうぞよろしくお願ひします。と言っても、皆さんと過ごせるのは残り2カ月ほど。ゴールデンウィークが明けると、指で数えられるほどしか皆さんとの図工の時間はありません。それでも、限られた時間の中で皆さんと作品作りをするのが楽しみです。

5年生の時にもお話しましたが、図工の授業では皆さんが絵を描いたり工作をしたりする時に、創造力をふくらませて自分らしい作品づくりが楽しくできるような時間にしたいと思っています。これじゃなきゃだめ！とかこれが正解！なんてありません。もちろん、作品をつくる中で「この方法で」「この道具を使って」などの土台を統一することはあります。でも、「こんなやり方はどうだろう？」「こんなのをやってみたい！」とアイデアがひらめいたらぜひ挑戦してみましょう。「試してみたら意外とうまくいった！」ということは生活の中でよくあることです。図工でもそんな体験を沢山してほしいです。

\*\*\*\*\*

最初の授業では、早速「コンテを使って」というテーマで作品作りを始めました。コンテを使って描くものは、校庭にある樹木。樹を写生するのですが、描くのは幹と枝だけで葉はあえて描きません。それぞれに、これ！という1本を決めたら、見たまをそのまま忠実に再現していきます。さすが6年生、コンテの使い方も上手で、濃淡を表現することもできていました。何より、3クラスともお天気に恵まれた中で活動することができて安心しました。



写生を終えたら、絵の具で葉の色付けをしていきます。ポイントは大きく3つ。

- ①水は少なめ
- ②点々ぬり（筆をトントン）
- ③画用紙の上で混色

この3つをベースに、自分の描きたい葉を色付けていきます。パレットの上で混ぜ色を作ってから塗るのではなく、画用紙の上で混色することでパレットでは生み出せない色をつくることができます。さすが6年生。意味をきちんと理解して、自分の表現に活かしていました。描きたい葉に合わせて筆を使い分けている子もいました。校庭に溢れている緑の葉の色にとらわれず、思い思いの鮮やかな色合いを表現できていたと思います。クレパスで模様を描いた黒い画用紙に貼り付けて完成です。コンテ・絵の具・クレパスと3種類の道具を使って仕上げた作品。使う道具は



同じなのに1つとして同じ作品が生まれないのが図工のおもしろいところだなあと改めて感じた2時間でした。

次回は、「ステンシル版画」に挑戦します。どんな作品ができあがるか楽しみです。

